

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
21ページに掲載している広報ク
イズの答えと一緒に、気ままなひ
とこと、ちょっと言いたいひとこ
とを、お待ちしております。

読者の伝言板

- 冬の豪雪、今回の大震災と、色々な事が起きていても季節の時間はちゃんと進んでいるのですね。家の周りのスイセンや梅が咲いているのを見て、被災地のかたがたが少しでも早く元の生活に戻れるよう、また復興に携わっているかたがたが体につけて無事に作業が進みますよう、切に願います(かあちゃん 48歳・手形)
- 地震で停電になった夜、過ぎし昔に学徒動員で軍需工場に動員され、戦争末期の時期で空襲に毎夜遭い、暗闇の中を逃げ回った事が思い出されました。被災にあつたかたがたの大変さを思い、一日も早い復興を祈り、手を合わせております(K・Aさん 82歳・牛島)
- 節電節約。やれば多い、大きい数字だと思いましたが(マリリンさん 58歳・外旭川)
- 今回の地震で防災バックの点検をしたところ、8年前の期限切れのものでびっしり。いつでも持ち出せるはずと思っていたのに、中身は子どもたちが乳児だったころのものばかり。子どもたちだけで電話をかけられるように考えて、連絡先を書いたものや小銭を準備したり、古くなった食品などを入れ替えたりしてコンバクトにパッケージアップしました。前回の広報あきを参考に雨具やマスクも追加。ホントは使う日が来ないといのですが...(伊藤久美さん 42歳・土崎)
- 地震・津波・洪水の恐ろしさを身近に実感しました。立場を自分に置き換えて家の中を整理中。今、毎日生活できる幸せをかみしめて、いくらでも義援金にしております。家族と一緒に暮らせることをありがたく思っています(猫じいさま 64歳・豊岩)
- スイセン、クロッカス、ヒヤシンスなど、春の花が咲き始めましたね。震災で大変な状況ですが、世の中の本当の春が来るのを願っています(藤井美紀さん 42歳・桜方丘)
- わが家から見える太平山はまだ白い山です。今年から家庭農園を借りて畑仕事をする

地域の話 おしえて!!

中央高校吹奏楽部がチャリティーコンサート 被災者のみなさんに音楽で元気を



演奏に合わせて歌とダンスも披露♪

4月24日、東日本大震災の被災地支援のためのチャリティーコンサートが土崎のセリオンリスタで開かれました。秋田中央高校吹奏楽部のみなさんや県内で活躍するミュージシャンたちが、被災者への思いを込めて演奏や歌を披露しました。

中央高校吹奏楽部部長の進藤由依さん(3年)が「行事が続く時期で大変だったのですが、『被災者のために私たちにできることをやろう』『音楽を演奏することで元気をあげたい』と出演を決めました。いつも以上に気合いが入りました」と話すとおり、熱気ある、心がこもったすばらしい演奏でした。この温かい気持ちはきっと被災地へ届き、元気を与えてくれることでしょう。



“がんばれ東北”の思いを込めて



おしゃべりかわらばん



東日本大震災メッセージボードに書き込みした石井慧さん(明徳小6年)

くじけず強い心で

被災者のみなさんへ向けた千秋公園のメッセージボードに「できるだけ節電をぼくはがんばります」と書き込みました。みなさん不安な気持ちだと思いますが、強い心で頑張っています。

大きな善意に感激

岩手を訪れていたとき震災に遭い、助けてもらいました。今、自分ができることがないかとチャリティーフリマ「わらしべ貯金箱」のサポーターになりました。みなさんの大きく温かい善意にとっても感激しました。



わらしべ貯金箱のサポーターをしている伊藤恵美子さん(東通)

ケーキできたよ！

今日は「ばっけの会」でケーキ作り。このような会は友だちもできますし、ふだんから活用しています。息子と一緒に作った「こいのぼりケーキ」はおいしそうなお出来映え！ 家族みんなで食べようと思います。



「親子でケーキ作り」に参加した梅田和登ちゃん(2歳)と麻美さん(将軍野)

にぎわいで明るく

つつい手が伸びる甘い物。今日は春らしく、よもぎ大福などを買いました。おいしいものがあり、賑わいもあり…。震災で大変な中でも少しでも明るくなるよう、こういった賑わいづくりは大事だと感じました。



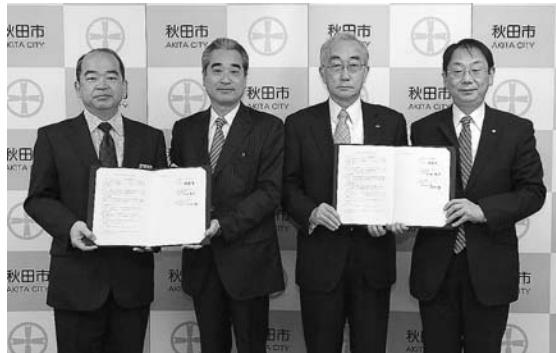
セリオンの「お菓子フェスタ」に会場した小玉勇雄さんとノリ子さん(外旭川)

歴史は魅力いっぱい！

寺内の秋田城跡ではボランティアガイドがいつでも案内します。お客さんの時間や要望に合わせたガイドを心がけています。一番の見所は復元された政庁。先祖が残した歴史をぜひ多くのかたに知ってほしいです。



秋田城跡のボランティアガイド名誉会長の池田重兵衛さん(寺内)



市と県警察本部、(株)秋田放送は、(株)エフエム秋田、災害時にライフラインなどの情報をラジオで放送することについて協定を結びました。➡24ページ

ことになりました。何を植えようかなあ。今から楽しみです(アマリリスさん 64歳・将軍野)
●5月、いつか休みが取れたらゼツタイ友だちと小泉潟公園に行くぞ。私が運転で、友だちが地図になり。：。天気がゼツタイ晴れますように！友だちと休みが合うのは月1〜2回です(鈴木さくらさん 54歳・河辺)
●キタスカがオープンして、私が住む北部地区が便利になりそうです。取扱業務が増えてうれしいです(まるこさん 37歳・将軍野)

係からひとこと

4月から広報広聴課に職場が移り、広報あきたの担当になりました。広報あきたは情報量も多く内容も幅広く、知らないことや慣れないことばかりで、あたふたする毎日です。おまけに校了前に今流行している胃腸炎にかかり、てんやわんやな状態で今この原稿を書いています。こんな新人の苦悩の日々もいつか、なつかしい良い思い出になりますように。そして市民のみなさんに少しでも喜ばれるような広報紙を作成できる立派なスタッフをめざして、日々頑張りたいと思います。(杏子)



(杏子)

人権擁護の普及に寄与 法務大臣から感謝状



このたび人権擁護委員を退職された4人のみなさん(写真左から、田中伸一さん、吉田明子さん、笹村淳子さん、澤口龍文さん)に、国民の人権擁護と人権思想の普及に貢献した功績により、4月19日、法務大臣から感謝状が贈られました。

新任のお知らせ…4月1日から津谷ゆき子さん(御所野)が人権擁護委員に委嘱されました。

※お住まいの近くの人権擁護委員に相談したいときは、秋田地方法務局人権擁護課へ。☎(862)1443